



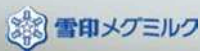
未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

2019年 3月期

決算報告

2019年5月13日



1

2019年3月期 連結損益計算書

(億円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減額
売上高	5,961	6,033	+72
営業利益	193	172	▲21
営業外損益	+16	+17	+1
経常利益	209	190	▲19
特別損益	▲19	▲37	▲18
税引前利益	190	152	▲37
純利益※	133	107	▲26

※親会社株主に帰属する当期純利益

内訳	【営業外損益】 ➢ 金融収支※：+2億円、持分法投資損益：+9億円 【特別損益】 ➢ 減損損失：△16億円 災害による損失：△5億円 ※金融収支＝受取利息＋受取配当金－支払利息
----	---

配当	普通配当	40円	連結配当性向	25.2%
----	------	-----	--------	-------



2019年3月期 連結営業利益増減要因の内訳

2018年3月期	2019年3月	増減額	主なセグメント別の増減額		
193億円	172億円	▲21億円	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗
			▲3億円	▲15億円	▲1億円
増益要因 合計		+46	+43	0	+3
販売単価差		+35	+32	0	+3
製品構成差		+8	+3	+5	0
宣伝促進費の減少		+3	+8	△5	0
減益要因 合計		▲67	▲46	▲15	▲4
オペレーションコストの増加		▲20	▲7	▲13	0
販売物量減少による利益減		▲17	▲22	+7	▲3
固定経費の増加		▲16	▲7	▲8	0
原材料コストの増加		▲10	▲8	0	▲1
その他		▲4	▲2	▲1	0

(補足) 主な要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。



Copyright © Megmilk Snow Brand Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

2019年3月期 連結貸借対照表

(億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減額		2018年 3月期	2019年 3月期	増減額
流動資産	1,421	1,488	+67	流動負債	1,406	1,179	▲227
固定資産	2,091	2,105	+14	固定負債	532	727	195
総資産 3,594億円 (前期比 +82億円)				純資産	1,573	1,687	+114

増減要因		【流動負債】	
【流動資産】		➢ 短期借入金： ▲218億円	
➢ 売上債権： +54億円		【固定負債】	
➢ たな卸資産： +17億円		➢ 社債： +100億円	
【固定資産】		➢ 長期借入金： +87億円	
➢ 投資有価証券： +61億円		【純資産】	
		➢ 株主資本等： +112億円	
		自己資本比率	46.3%



Copyright © Megmilk Snow Brand Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

主な内訳		(前期)
営業CF +219億円	税金等調整前当期純利益	152億円
	減価償却費	159億円
	減損損失	16億円
	売上債権の増加額	▲55億円
	たな卸資産の増加額	▲21億円
		+228億円
投資CF ▲142億円	有形及び無形固定資産の取得による支出	▲158億円
		▲117億円
財務CF ▲73億円	社債	99億円
	借入金増減	▲131億円
	配当金の支払額	▲27億円
		▲129億円
現預金増減額 +4億円		有利子負債 717億円

	業績予想		(億円)
	2019年3月期	2020年3月期	
売上高	6,033	6,150	+116
営業利益	172	180	+7
経常利益	190	195	+4
親会社株主に帰属する当期純利益	107	120	+12

配当	普通配当	40円	連結配当性向	22.6%
----	------	-----	--------	-------

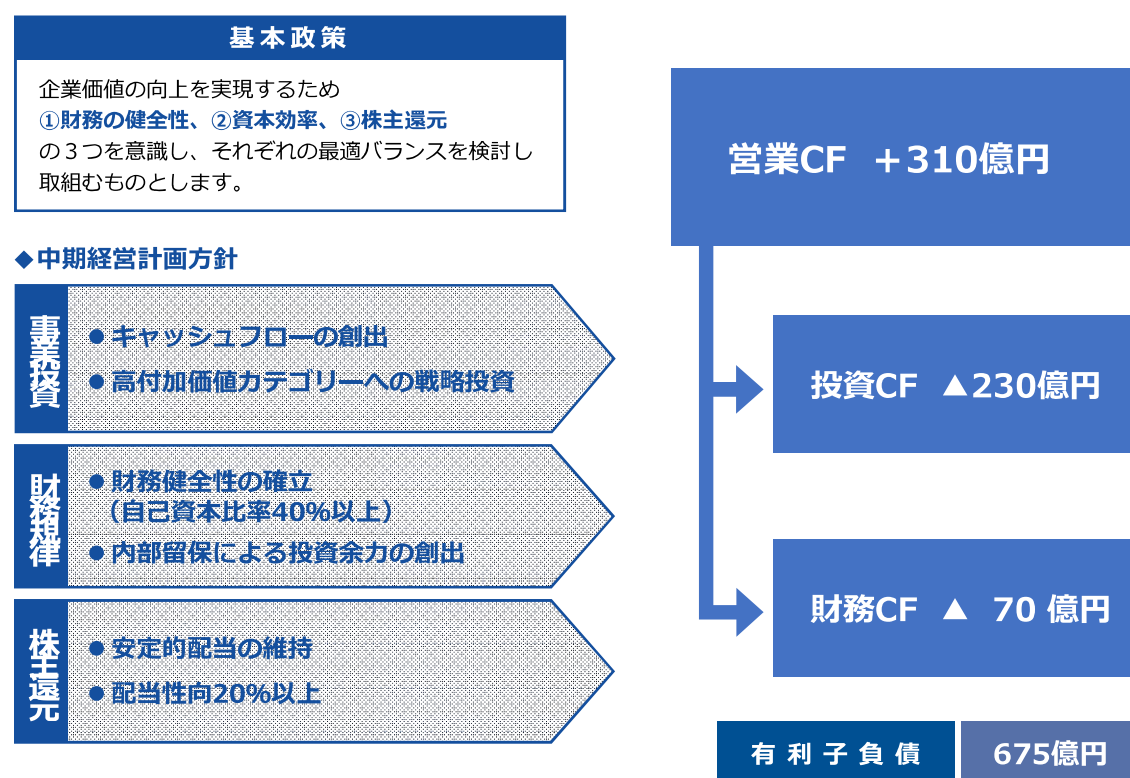
2020年3月期 | 連結営業利益増減要因の内訳（業績予想）

2019年3月期	2020年3月	増減額	主なセグメント別の増減額		
172億円	180億円	+7億円	乳製品	飲料・デザート類	飼料・種苗
			+3億円	+7億円	▲2億円
増益要因 合計		+99	35	58	+4
販売単価差		+61	+4	+57	0
製品構成差		+22	+9	+13	0
販売物量増加による利益増		+16	+22	▲12	+4
減益要因 合計		▲92	▲32	▲51	▲6
原材料コストの増加		▲38	▲7	▲24	▲6
固定経費の増加		▲29	▲14	▲13	0
オペレーションコストの増加		▲10	▲1	▲9	0
宣伝促進費の増加		▲10	▲6	▲4	0
その他		▲5	▲4	▲1	0

（補足）主な要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

2020年3月期計画前提為替レート 1米ドル=111円
為替感応度（営業利益ベース） 1円高 +1.5億円

2020年3月期 | 連結キャッシュ・フロー計算書（見通し）



未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。